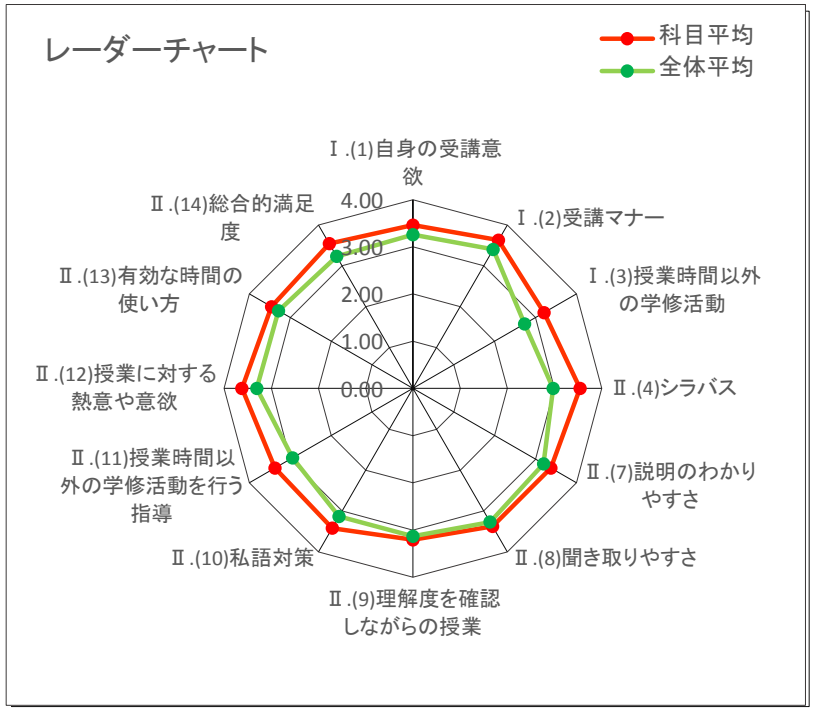
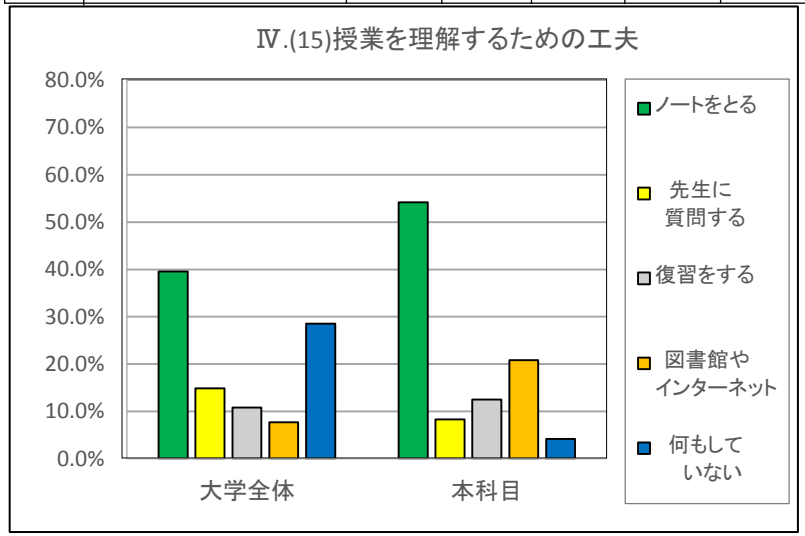
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.46	3.26
	Ⅰ.(2)	3.63	3.40
	Ⅰ.(3)	3.21	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.54	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.38	3.20
	Ⅱ.(8)	3.38	3.27
	Ⅱ.(9)	3.21	3.13
	Ⅱ.(10)	3.42	3.13
	Ⅱ.(11)	3.38	2.94
	Ⅱ.(12)	3.63	3.31
	Ⅱ.(13)	3.46	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.54	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	54.2%	8.3%	12.5%	20.8%	4.2%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.43	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.42	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.54	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	31304
科目名	税制から見る日本経済
教員名	

①授業計画の達成度について

設問4(シラバス)について、高い評価であり、目標は達成されたと考える。
設問5,6(難易度)についても、ほぼ全体平均並みであった。
共通教育科目でありながら、直近の現実問題を踏まえた応用的科目であり、受講者の問題意識とどうマッチさせるのか思案しながら授業を進めたが、受講生の意欲の高さが高い評価に繋がったと理解している。

②授業の進め方について

授業の進めた方(設問7,8,9,10,14)についても、全項目で全体平均を上回る評価を得た。
1限目にも関わらず受講した学生の意欲の高さが反映されていると考えている。税金の問題については複雑な制度や抽象的な理論といった面が理解に必要となるが、今後の日本において避けて通れない話であり、評価の高さは有り難いと考えている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

ほぼ全項目において全体平均を上回る評価が得られた。科目として定まった教科書がない分野であるが、現状の経済状況や税制の行方について、意欲の高い学生が受講してくれた結果だと考えている。
「ノートを取る」や「図書館やインターネットで調べる」などの比率も高く、有り難い結果となっている。
さらに取り上げたいテーマは多くあるが、15回の講義では足りない。今後も各人で関心のあるテーマを引き続き勉強してもらいたいと思っている。共通教育科目として、ファーストステップの問題意識を掘り起こせたらということを念頭に授業を行った。今後も自身の生活にも直結する問題であり、すぐに答えが見つかるという問題でもないので関心を持ち続けてもらいたいと思っている。

奈良学園大学